

UH-60JAの訓練飛行再開について

1 現状

令和5年4月6日（木）、陸自第8師団UH-60JAヘリコプターの事故が発生したことを受け、UH-60JAについては、災害派遣、緊急患者空輸などの任務飛行（※）を除き、機体の健全性を確認するための「入念な点検」や「必要な教育」が終了するまで、訓練飛行を見合わせてきました。

※ 任務飛行に当たっては、確実な飛行前・飛行後の点検と地上試運転を実施

2 「入念な点検」及び「必要な教育」

全国のUH-60JAに対して、考え得る様々な事故の要因を検討し、エンジン系統、操縦系統、燃料系統、航法系統（コックピットの各計器の表示点検）といった機体の健全性を確認する「入念な点検」及び、全国のUH-60JAの操縦士等に対する緊急操作手順等の「必要な教育」が完了しました。

3 今後の予定

今後、事故調査委員会による分析結果等を踏まえ、対策を講じた上で、段階的にUH-60JAの飛行を再開したいと考えております。その際には、地元の皆様等に丁寧の説明させていただきます。

一方で、飛行再開後の安全を確保するためにも、乗員の練度を維持する必要があります。この点、「入念な点検」及び「必要な教育」が完了したことを踏まえ、練度維持に最低限必要なものとして、駐屯地内の飛行場及び場周飛行経路（※）における訓練飛行については、先行して再開することとしたいと考えております。

※ 着陸する航空機の流れを整えるために滑走路周辺（駐屯地外も含む）に設定された飛行経路

